

飼養60頭 全共県予選にも挑戦

茨城県大子町の医療法人・直志会は、農福連携で和牛繁殖を手がける全国でも珍しい医療法人だ。畜産業を事業内容に登記。家畜人工授精師などの資格を持つスタッフ6人が関連施設「アミゴ牧場」の運営を担う。繁殖農家として地域で存在感を發揮している。

茨城の医療法人

リハビリの一助 「リハビリになる」と増頭を決めた。これがアミゴ牧場の出発点だ。直志会は1977年に開設した精神科の「袋田病院」を中心に、障害福祉サービス事業所などを展開する。当時の院長が裏山で1頭の牛を飼うと、患者が楽しそうに牛と触れ合う姿を見て、

農福連携 和牛繁殖の本格派



和牛全共の県予選に出場した「みさと408」と利用者やアミゴ牧場のスタッフら(茨城県大子町)直志会提供、写真の一部を加工しています。

「貴重な担い手」

市場の評価も高い。月1頭以上はJA全農いばらきの家畜市場に出荷し、20年4月と今年8月の和牛せり市で最高値を付けた。県代表は逃したが、第12回全国和牛能力共進会(鹿児島全共)の2区にも挑戦した。

牧場を管理するスタッフの武居大人さん(33)は「市場価格や畜産ヘルパの依頼が施設の信頼を高め、利用者の自信になっている」と話す。

地元のJA常陸は「良い牛を出荷する貴重な地域の担い手だ」として、今後の活躍と「アミゴ牧場」による地域農業の活性化に期待を寄せる。

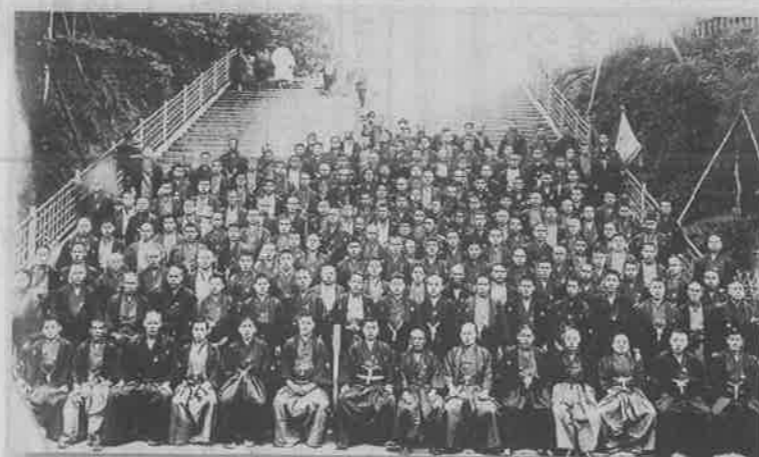
青果商の裏方100周年

記念の地、上野で回顧

東京都内の青果小売店などでつくる都青果物商業協同組合が、創立100周年を迎えた。19日、上野滝蔵・初代理事長の親族や組合関係者約40人が出席して、物故者法要を開いた。当時、創立を祝った上野恩賜公園(台東区)に集まり、歴史や先人の功恩いを話した。組合の発足は1年。青果小売業



◀大正期に誕生 ▼令和に続く



▲1921年に上野恩賜公園で行われた組合発会の記念撮影(組合提供) ▲100年前と同じ上野公園で記念撮影した東京都青果物商業協同組合の関係者ら(19日、東京都台東区)

認定 いい大葉の日

上皇后さま88規則正しく生

4年ぶり

上皇后さまは88歳の米寿の誕生日を迎えられた。4月坂御用地(東京都区内の仙洞御所)の宮内庁によるこの1年も新型コロナウイルスの影響で外部の人との面極力控え、上皇さま規則正しい生活を営んでいる。誕生日の行事は4年ぶりに縮小して行われ、結婚後30年余り続けた深いお返し、朝夕に上皇さまと御用地内を散策(洞御所(港区)2年間仮住まい)の際、交流を深めた保育園の園児ら

「ボージョレ」羽田空港に到着

11月17日に販売禁されるフランスインの新酒「ボー

給食は高松の自慢!



オリーブ牛「とろける脂身、世界中に知ってほしい」

地元ブランド農畜産物 順次メニューに

やが、24、27日は54校にハヤシライス、28日は5校に炊き込みご飯のメニュー3種が用意された。

市立花園小学校では、5年生が肉じゃがを味わい、盛んにおかわりしていた。和田様子さん(11)は、「かわらかくて、脂身がとろけた。こんなにおいしいお肉のことを、世界中の人に知ってほしい」と笑顔を見せた。

児童は給食を食べながら、生産の様子や魅力を紹介する映像を見

オリーブ牛の肉じゃがを味わう高松市立花園小学校の児童(高松市)

「高松ムービーチャンネル」でも随時公開する予定だ。(かがわ)

